

日本リハビリテーション医学会 平成 25 年度第 6 回理事会 議事録

日 時：平成 26 年 1 月 25 日(土) 12 時～17 時 30 分

場 所：都市センターホテル スバル

構成員：理事 20 名，監事 3 名

出席者

理事長／水間正澄

副理事長／椿原彰夫・才藤栄一・出江紳一

理 事／赤居正美・朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲

石合純夫・川平和美・上月正博・佐浦隆一

志波直人・白倉賢二・田島文博・芳賀信彦

正門由久・水落和也

監 事／木村彰男・久保俊一

専門医会幹事長・事務局幹事／近藤和泉

欠席者

理 事／安保雅博・石川 誠

監 事／住田幹男

議 題

I. 報 告

1) 業務執行理事会報告

水間理事長から，平成 25 年度第 7 回から第 10 回業務執行理事会（Skype 会議）の報告があった。

2) 会員現況報告

水間理事長から，会員現況について 1 月 19 日現在で会員が 1 万人を超えた旨の報告があった。

3) 代議員選挙について

芳賀理事から，代議員選挙立候補者名簿が告示され，投票が進んでいる旨の報告があった。

4) 寄附金の受け入れについて

水間理事長から，業務執行理事会が緊急に寄附募集を行い，現在までに 9 件，総額 3,350 千円の寄附の受け入れを決定し，さらに 2 件 300 千円の受け入れを見込んでいる旨報告があった。

なお，学会誌に寄附者名を掲載することとした。

5) その他

①リハビリテーション医療関連団体協議会

水間理事長から，リハ関連団体協議会の活動について報告があった。

②大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会

水間理事長から，第 21 回戦略会議について報告があった。

③日本医学会臨時評議員会

水間理事長から，日本医学会臨時評議員会における日本医学会連合設立に関する議論について報告があった。

④日本専門医制評価・認定機構臨時社員総会

水間理事長から，日本専門医制評価・認定機構臨時社員総会について報告があり，日本専門医機構（仮称）設立について社員構成などで議論となっている旨説明があった。

II. 重要審議事項

1) 財務委員会（臨時）の設置について

水間理事長から，財務委員会（臨時）の設置の経緯について次のとおり説明があった。

財務委員会の設置は第 5 回役員会で決定し，その後設置形態等についてメール審議を行ったが，役員全員の了承が得られなかった。財務委員会は緊急に設置し活動を開始する必要があることから，「常置部会・委員会に関する規則」第 4 条の規定に基づき業務執行理事会が設置の仮承認を行い，本役員会で正式に設置の承認を得るものである。

審議の結果，原案どおり承認された。

引き続き水間理事長から，第 1 回，第 2 回財務委員会（臨時）の報告があった。

2) 平成 25 年度財務状況調査について

冒頭，理事長から前回役員会における執行部の対応について遺憾の意が表明された。

引き続き，本日の陪席として出席の袖山公認会計士から，本医学会の過去 10 年の財務構造に関する説明及び公益法人化に絡む会計処理の手続き変更の状況について説明があった。

さらに事務局長から，今年度の収支見込に関して現金収支の分析など新たな手法を取り入れたことにより役員会の混乱を招いたことについて，その経緯の説明があった。

その後理事長から，平成 25 年度財務状況調査結果について報告があり，審議の結果，原案どおり承認された。

なお，特定資産の取り崩しは本医学会現行規則では代議員総会での承認事項となっているため，次回

代議員総会において説明し承認を得ることとしたが、財務委員会の立ち上げも含め、経緯についてホームページで代議員に報告することを検討することとした。

また、学会誌のあり方については、刊行物あり方委員会において検討し、次回役員会に提案すること、寄附については役員にも協力を願うこととした。

3) 50 回学術集会・記念式典関係会計報告（再報告）
水間理事長から、50 回学術集会及び 50 周年記念事業費の収支決算について改めて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

4) 平成 26 年度事業計画について
才藤副理事長から、平成 26 年度事業計画案について説明があった。審議の結果、予算の見直しに合わせて各委員会において再度見直しを行い、次回役員会で決定することとした。

5) 平成 26 年度予算案について
出江副理事長から、平成 26 年度の予算編成にあたっての考え方が報告された。審議の結果、平成 26 年度予算の編成にあたっては、予算関連資料 2 に示されたシミュレーション②に示された予算総額を「予算の規模感」として認識し、各委員会が改めて事業の見直しを行ったうえで、財務委員会（臨時）において検討し、次回役員会で決定することとした。

なお、財務状況や消費税値上げの状況などを勘案し、この役員会で会費値上げをする方針を決定し、次期役員会へ平成 27 年実施を引き継ぐこととした。

6) 公益事業基金に関する規則改正案について
椿原副理事長から、公益事業基金に関する規則改正案について説明があった。この改正案は、特定資産の取り崩しについての規定改正であるが、全体を通じてさらに検討を要する部分があるので意見を出して欲しいこと、取崩しだけでなく資金繰り入れに関する規定も盛り込むことが確認された。

7) その他
才藤副理事長から、委員会出席旅費のうち宿泊料の取扱いについて、宿泊実態は報告によること、支給額は 1 泊 8 千円に減額することの提案があり、審議の結果了承された。

なお、旅費支給に関する内規の改正を行うこととした。

Ⅲ. 審議事項

1) 医師以外の正会員の取扱いについて

水間理事長から、医師以外の正会員の認定に関する内規改正案について説明があり、審議の結果、会則検討委員会に附議することとした。

2) 心理職の国家資格化に関する賛同及び協力依頼について

水間理事長から、日本心理研修センターから依頼のあった心理職の国家資格化に関する賛同及び協力依頼について、メール審議の結果役員全員一致の賛同が得られなかったことから、朝貝理事に他機関等の状況を確認していただき、本理事会で改めて協議することとなった経緯の説明があった。

引き続き朝貝理事から、これまでの調査結果について報告があり、審議の結果、リハビリテーション教育の質的・量的拡充を条件に賛同することとした。

3) 代議員選挙に関する内規改正案について

芳賀理事から、代議員選挙における不正行為への対応を目的とした内規改正案について説明があり、審議の結果、会則検討委員会に附議することとした。

4) 理事会の人事に関する内規改正案について

椿原副理事長から、理事会の人事に関する内規改正案について、前回役員会での審議を踏まえた改正内容の説明があり、審議の結果、改正案第 7 条第 4 項の「出席し意見も述べることができる」を「出席することができる」に修正し、会則検討委員会に附議することとした。

5) 専門医会研究補助金に関する内規改正案について
近藤専門医会幹事長から、専門医会研究補助金に関する内規改正案について説明があり、審議の結果、会則検討委員会に附議することとした。

6) 論文賞の選考と表彰に関する内規改正案について
川平理事から、論文賞の選考と表彰に関する内規改正案について説明があり、審議の結果、第 3 条第 1 項を削除し、会則検討委員会に附議することとした。

7) 新専門医制について

① 研修プログラムについて

石合理事から、研修プログラムの受付状況、専門医制度対策委員会でのプログラム検討状況、研修カリキュラム改訂について説明があり、審議の結果、承認された。なお、研修カリキュラムの改訂については、1 月中に各専門分野の理事を中心に検討を依

頼することとした。

②他科からの転向への対応について

芳賀理事から、新専門医制度における「他科からの移行」への対応について説明があり、審議の結果、専門医制度対策委員会で推進する方向で検討し、他学会の状況も踏まえて理事会に提案することとした。

③サブスペシャリティについて

芳賀理事から、新専門医制度におけるリハ科のサブスペシャリティの考え方について説明があり、審議の結果、今後検討していくこととした。

④日本専門医機構（仮称）について

水間理事長から、日本外科学会および日本内科学会からの呼びかけで開催された新機構への社員の在り方についての意見交換会について説明があった。審議の結果、新機構の社員には現機構の社員学会がすべて入ることを要請することとする意見交換会の基本方針について、同意することとした。

8) 日本小児神経学会からのサブスペシャリティに関する要請について

水間理事長から、日本小児神経学会から同学会をリハ医学会を基本領域としたサブスペシャリティ領域とすることの要請について説明があり、審議の結果、小児神経学会に詳細を確認し、再度役員会に提案することとした。

9) 平成 25 年度専門医会研究補助金の対象者について

近藤専門医会幹事長から、平成 25 年度専門医会研究補助金対象者について今年度は 1 件の採択とする説明があり、審議の結果、原案どおり荻野互平氏に決定した。

10) 学会誌別刷り料金の改訂について

川平理事から、消費税増税に伴い学会誌別刷り現行料金を 4 月 1 日以降税抜き価格とする説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

11) 医師以外の正会員の入会について

上月理事から、松田雅弘氏の入会について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

12) 会員の入退会について

水間理事長から、会員の入退会状況について説明があり、承認された。

13) 社会保険等委員会関係

欠席の石川理事に代わって水間理事長から、厚労省が検討している平成 26 年度診療報酬改定に関する情報について説明があり、了承された。

14) 急性期病棟におけるリハビリテーションに関する研修会（仮称）企画について

水間理事長から、診療報酬改定に合わせて急性期病棟におけるリハ研修会を教育委員会に検討していただき、社会保険等委員会が実施することについて説明があり、審議の結果、了承された。また、回復期リハ病棟協議会から、回復期医師向けの研修会をリハ医学会の共催として実施したい旨の要望があることについて説明があり、審議の結果、了承された。

15) 大規模災害リハビリテーション関連団体協議会広報委員の推薦について

水間理事長から、大規模災害リハ関連団体協議会の広報担当の推薦要請があり、当面水間理事長が担当する旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

16) 第 51 回学術集会プログラム案及び予算案について

才藤第 51 回学術集會会長から、学術集会プログラムについて説明があった。演題数のとりまとめの結果、チーム Day の混雑が予想されることから、非会員向けの 1 Day Pass を取りやめることについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。また、収支予算書については、1 Day Pass 取りやめの効果を反映したものを、改めて次回役員会に提案することとした。

17) 第 9 回専門医会学術集会予算案について

近藤専門医会幹事長から、鹿児島で開催される第 9 回専門医会学術集会予算案について説明があり、審議の結果、事務局経費の雑費を予備費として別建てすることとし、承認された。

18) 資格認定委員会関係

①指導責任者の新規認定について

浅見理事から、専門医試験及び認定臨床医の書類審査結果及び指導責任者新規申請について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、専門医の認定結果が医学会 HP に掲載されていることから、認定臨床医についても掲載したい旨説明があり、審議の結果、掲載する方向で広報委員会に依頼することとした。

19) 施設認定委員会関係

①研修施設の新規認定について

田島理事から、研修施設の新規認定(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

②研修施設の保留解除について

田島理事から、研修施設の保留解除(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

20) 専門医試験問題作成に関するワークショップに対する単位付与について

正門理事から、専門医試験問題作成に関するワークショップに対する単位付与について、内規が存在しないため理事会決定として5単位を付与したい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

21) 2-f (初回) 項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から、今回の申請は他学会のセミナーであるため2-eでの申請はできないことから2-fで申請した旨の説明があった。2-fは地方会開催であるため、議題23での教育委員会取り決め改訂の審議において取り決めの改訂が承認された場合に、今回の申請を認めることとした。

22) 2-e 項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から、関連学会が開催する学術集会で行われる教育研修講演の単位申請について説明があり、審議の結果、演題の見直しを行うことを条件に、承認することとした。

23) 2-f, g 教育委員会取り決め改訂について

正門理事から、2-f, g の教育委員会取り決めの一部改定について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、本件承認に伴い、議題21については承認された。

24) 学術集会での研修講演受講数の上限緩和について

正門理事から、教育研修講演受講数の上限について、年次学術集会を4講演から5講演までに、専門医会学術集会を3講演から4講演までに緩和する旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

25) 国際シンポジウムの単位付与について

正門理事から、前回役員会で承認された50周年記念事業国際シンポジウムの単位付与について2014年度単位付与項目に記載する旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

26) その他

① 後援・協賛について

水間理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

② 功労会員推薦基準について

水間理事長から、功労会員の理事推薦を検討したいとの理事からの要請があるが、年齢上位の会員がまだ多数いることから、当面80歳程度をめどに

理事長から推薦することとしたい旨の説明があり、審議の結果、承認された。

③ 平成26年度前期各種委員会委員の推薦について

才藤副理事長から、平成26年度前期各種委員会委員の推薦については、早めに提出いただきたい旨の説明があり、承認された。

IV. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成25年11月14日から平成26年1月19日に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告があった。

- | | |
|---------------|-------------------|
| ① 編集委員会 | 川平理事 |
| ② 評価・用語委員会 | 志波理事 |
| ③ 教育委員会 | 正門・石合理事 |
| ④ 資格認定委員会 | 浅見理事 |
| ⑤ 施設認定委員会 | 田島理事 |
| ⑥ 試験委員会 | 白倉・芳賀理事 |
| ⑦ 診療ガイドライン委員会 | 生駒理事 |
| ⑧ 障害保健福祉委員会 | 水落理事 |
| ⑨ 関連専門職委員会 | 朝貝理事 |
| ⑩ 広報委員会 | 安保理事に代わり
水間理事長 |
| ⑪ 国際委員会 | 佐浦理事 |

2) 専門医会報告

近藤専門医会幹事長から報告があった。

3) RJN 報告

浅見理事から、RJN 企画セミナーについて報告があった。また、会員及び研修医向けの冊子への広告掲載依頼について報告があった。なお、本件に関連して、今後広告依頼を行う場合は、賛助会員を優先することとした。

4) ICF Core set 翻訳作業について

出江副理事長から、翻訳チーム編成および作業が進行している旨の報告があった。

5) 国際シンポジウムの準備状況について

安保理事が欠席のため、特段の報告はなかったが、準備は進んでいることが確認された。

6) JIS の見直し調査について

朝貝理事から、5年毎に行われているJISの見直し調査について、関連学会の意見を踏まえて関連機器委員会でさらに検討していく旨報告があった。

7) 臨床研修医等医師向けリハ研修会について

石合理事から、研修会開催計画案について報告があった。

- 8) 2-g, 2-f (2回目以降) 項目による生涯教育研修単位の申請について
正門理事から報告があった。
- 9) 回復期リハ病棟協会医師研修会報告
正門理事から報告があった。
- 10) その他
- ①内閣府通知による公益法人における政策・決定過程への女性の参画について、才藤副理事長から報告があった。
 - ②脳科連質問コーナー担当者について安保理事に代わり水間理事長から報告があった。
 - ③朝貝理事から、産科医療補償制度の補償対象基準が改正されることについて報告があった。
 - ④赤居理事から、小児 SIG のデータベースが完成したため、今後は切断などに拡大していきたいこと、小児 DB についてはリハ医学会のサーバーを利用したいことについて報告があり、サーバー利用については承認された。
 - ⑤脳卒中対策立法化推進協議会から脳卒中対策基本法制定に向けた国会議員要請についての依頼があり、後日役員に資料を送ることとした。
- 以 上

日本リハビリテーション医学会 平成 25 年度第 7 回理事会 議事録

日 時：平成 26 年 3 月 15 日(土) 12 時～17 時

場 所：都市センターホテル スバル

構成員：理事 20 名、監事 3 名

出席者

理事長／水間正澄

副理事長／才藤栄一・出江紳一

理 事／赤居正美・朝貝芳美・浅見豊子・安保雅博
生駒一憲・石合純夫・石川 誠・川平和美
上月正博・佐浦隆一・志波直人・白倉賢二
田島文博・芳賀信彦・正門由久・水落和也

監 事／木村彰男・住田幹男

専門医会幹事長・事務局幹事／近藤和泉

刊行物の在り方検討委員会委員長／道免和久

(該当議題のみ)

欠席者

副理事長／椿原彰夫

監 事／久保俊一

議 題

I. 報 告

1) 業務執行理事会報告

水間理事長から、平成 25 年度第 11 回から第 13 回業務執行理事会 (Skype 会議) の報告があった。

2) 会員現況報告

水間理事長から、会員現況について報告があった。

3) 代議員選挙について

芳賀理事から、代議員選挙結果について報告があった。代議員選挙が低投票率だったことについて、今後投票率を上げていくための方策を検討する

必要がある旨補足があった。

4) 役員選挙について

芳賀理事から、役員選挙の開始について報告があった。今回の選挙は全て電子投票とし、推薦書及び立候補承諾書を選挙管理委員会に郵送するほか、立候補所信表明を Web 入力する必要がある。Web 入力が完了しない場合は、推薦書及び立候補承諾書が届いても無効となる旨補足があった。引き続き選挙日程について次のとおり説明があった。

立候補期限は 3 月 31 日(月)17 時。4 月 4 日(金)から意向投票が開始され、4 月 21 日(月)17 時に投票を締め切り、4 月 23 日には役員及び候補者への開票結果の通知を行う。開票結果の通知には各候補者の得票数が含まれる。その後 4 月 26 日の役員会で代議員総会に新役員候補派を提案することについて決定し、6 月 4 日の代議員総会で信任投票が行われる。

5) 寄附金の受け入れについて

水間理事長から、業務執行理事会で 1 件の寄附申込みの受け入れ承認を行った旨報告があった。

6) その他

①日本医学会定例評議員会報告

水間理事長から、2 月 20 日に開催された日本医学会定例評議員会について、平成 26 年度には日本医学会を一般社団法人化する方向で準備が進んでおり、会費については初年度一分科会通年 5 万円と会員数×50 円で検討されている旨の報告があった。

②日本専門医制評価・認定機構社員総会報告

水間理事長から、2 月 28 日に開催された日本専

門医制評価・認定機構社員総会において、現在検討が進んでいる日本専門医機構の社員の在り方について、懸案であった各基本領域の代表者が社員になることが受け入れられた旨の報告があった。

重要審議事項に入る前に、住田監事から今年度の財務状況に関する会員及び代議員への報告対応状況について質問があり、審議の結果、25年度決算の監事監査終了後に、リハ医学会ホームページで代議員に説明することとした。

II. 重要審議事項

1) 平成26年度予算案について

出江副理事長から、平成26年度予算案について説明があった。予算案は、財務委員会（臨時）で検討された後、理事に事前送付し各委員会で修正の検討を行っていただいた結果をまとめたものであるが、さらに事務局からの修正事項を盛り込んだ改予算案が席上配布され、この改予算案を基に審議を行った。

審議の結果、次の内容を盛り込む修正を行うこととし、平成26年度予算案は承認された。

経常収益では、試験委員会から専門医認定試験料を1万円引き上げる。

経常費用では、①学術集會事業費から抄録号広告料の額を除く、②抄録集作成費を編集委員会からの見積もりに基づき修正する、③実習研修事業費を企画調整費として10万円増額し50万円とする。

2) 公益事業基金に関する規則改正案について

出江副理事長から、公益事業基金に関する規則名称を基本財産及び特定資産に関する規則に変更し、基本財産及び特定資産の取扱いの方法等に関する条項について改正する旨の説明があり、審議の結果、会則検討委員会に附議することとし、代議員総会で承認を得ることとした。

3) 平成26年度事業計画について

才藤副理事長から、平成26年度事業計画案について説明があった。事業計画案は、事前に理事に案を送付し検討を行っていたもので、検討に基づく一部修正案が出され、審議の結果、平成26年度事業計画修正案が承認された。

III. 審議事項

1) 平成26年度前期各種委員会委員の委嘱・退任について

水間理事長から、平成26年度前期各種委員会委員の新規委嘱委員の案について、25年度までに推薦されて委員会に委嘱されていない先生を優先的に委員会に推薦した旨の説明があり、審議の結果、原案の通り承認された。なお、理事長から、今回の委嘱で委員会に配分されなかった先生方については、26年度後期委員委嘱の際に優先的に推薦するよう依頼があった。

2) 新専門医制度について

石合理事から、専門医制度に関する日本専門医制評価・認定機構の状況及び専門医制度対策委員会における研修カリキュラムとの検討状況等について説明があった。専認構の動きを確認しながら、今後情報を提供していくこと、標準研修プログラムの作成を進めていくことについて説明があり、了承された。

3) 旅費支給に関する内規改正案について

才藤副理事長から、旅費支給に関する内規の改正案について説明があり、審議の結果、会則検討委員会に附議することとした。

4) 専門医会に関する規則改正案について

近藤専門医会幹事長から、専門医会に関する規則改正案について説明があり、審議の結果、特別委員の職務の条項を加えること及び字句修正を行い、次回理事会に改めて提案することとした。

5) 専門医会幹事選挙に関する内規一部改正案について

近藤専門医会幹事長から、専門医会幹事選挙に関する内規の一部改正案について説明があり、審議の結果、会則検討委員会に附議することとした。

6) 専門医会委員委嘱関係(案)について

近藤専門医会幹事長から、専門医会関係の委員委嘱案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

7) 第8回専門医会学術集會収支報告について

石合理事（第8回専門医会学術集會会長）から、第8回専門医会学術集會収支報告について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

8) 代議員定数の算定方法について

芳賀理事から、代議員定数の算定方法について説明があり、持ち帰り検討していただき、次回役員会で再度審議することとした。

9) 小児神経学会からのサブスペシャリティの要請について

芳賀理事から、小児神経学会からのサブスペシャリティの要請を契機にサブスペシャリティについて専門医制度対策委員会で検討した結果、小児神経学会に対しては時間をかけて検討する旨を回答し、他のサブスペシャリティ領域との関係を整理していくことが必要との説明があった。審議の結果、感染症専門医、リウマチ専門医では、すでにリハ医学会も含む領域をサブスペシャリティ領域としていることから、小児神経学会からの申し出は了承することとし、今後の対応は芳賀理事を担当として進めることとした。

10) 刊行物の在り方について

川平理事及び陪席の刊行物の在り方検討委員会道免委員長から、刊行物の在り方について次のとおり説明があった。

学会刊行物は、今後、和文誌と英文誌の2本立てで刊行していくこととし、コスト削減、コンテンツの充実の2大目標に沿って整備を進めていく。特に和文誌は、会員のWebへのアクセス状況を踏まえながら、紙媒体を残しつつPDF化を図っていく。また、コスト削減のために段階を追って電子化を進め、会媒体の有料化についても検討していく。

これらの方針について審議した結果、①和文誌・英文誌の2本立て計画は早急に進めること、②和文誌の在り方について会員のアンケートを取るなどして、紙媒体での提供要望の把握を行うこと、③英文雑誌名を「Progress in Rehabilitation Medicine」とすること、④DOIの取得を目指すこと、を決定した。さらに英文誌編集委員会の立ち上げの検討、和文誌制作にあたってのアウトソーシングや競争入札による制作を検討していくこととした。

11) 学会誌の刊行方法の一部変更について

川平理事から、学会誌の4月号及び5月号並びに8月号及び9月号を合併号とすることについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

12) 平成25年度論文賞選考結果について

川平理事から、平成25年度論文賞各賞の選考結果について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

13) 平成26年度海外助成対象者について

佐浦理事から、平成26年度海外研修助成対象者について説明があった。海外研修助成は、1件当たり35万円を上限としてきたが、今回は4人の応募

があったこと及び海外研修助成金予算を130万円としたことから1件当たりの助成額を25万円とし、残り30万円は特別助成に充てることとする国際委員会からの提案について、審議の結果、原案どおり承認された。

14) 平成26年度外国人短期交流対象者について

佐浦理事から、平成26年度外国人短期交流対象の応募1件については資格を満たさないことから対象者なしとする旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

15) 会則検討委員会からの各種規則改正案について

上月理事から、各種規則改正案について説明があった。

①医師以外の正会員の認定に関する内規(改正案)

審議の結果、第3条(3)及び(4)1の「医学」を削除し、承認された。

②代議員選挙に関する内規(改正案)

審議の結果、原案どおり承認された。

③理事会の人事に関する内規(改正案)

審議の結果、原案どおり承認された。

④専門医会研究補助金に関する内規(改正案)

審議の結果、原案どおり承認された。

⑤論文賞の選考と表彰に関する内規(改正案)

審議の結果、原案どおり承認された。

16) 名誉会員及び功労会員の推薦について

才藤副理事長から、平成26年度名誉会員及び功労会員の候補について説明があった。名誉会員は審議の結果、田中信行先生を代議員総会に推薦することが承認された。功労会員については、候補者リストの中から役員員の推薦を得ることとし、3月31日までに理事長宛てに推薦状を提出することとした。なお、功労会員は概ね5人程度とし、前回並みの7人を上限とすることとした。また、27年度以降の功労会員については、推薦方法等を検討していくこととした。

17) 第51回学術集会予算案(再提案)について

才藤副理事長(第51回学術集會会長)から、第51回学術集会収支予算案について再提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

18) 平成26年度代議員総会等の日程(案)について

才藤副理事長から、平成26年度代議員総会等の日程について説明があり、審議の結果、会員への報告会の開催時間を修正し承認された。

19) 平成25年度専門医・認定臨床医認定試験について

芳賀理事から、3月6日、7日に実施された専門

医・認定臨床医試験の結果について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

20) 第10回専門医試験問題について

芳賀理事から、第10回専門医試験問題について一部に適切ではない問題があり、採点の対象から外すことの説明があり、審議の結果、合否に影響を及ぼさないことが確認され、学会誌にお詫びと訂正記事を出すことが承認された。

21) 医師以外の正会員の入会について

上月理事から、医師以外の正会員の入会について説明があった。会則検討委員会では資格要件を満たさないとの判断であったが、審議の結果、資格要件を満たすことが確認され、五味暁憲氏を正会員として承認することとした。

22) 会員の入退会について

才藤副理事長から、会員の入退会状況について説明があり、了承された。

23) 社会保険等委員会関係

水落理事及び石川理事から、外保連関係及び急性期病棟リハ医研修に関して説明があり、承認された。

24) 施設認定委員会関係

①研修施設の新規認定について

田島理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

②研修施設の資格喪失について

田島理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

25) 生涯教育単位申請に係る審議について（学会誌との関連）

才藤副理事長から、これまで理事会審議事項としていた生涯教育単位申請については、教育委員会審議に基づく報告事項とすることについて説明があり、学会誌の合併号の発行のとの関連から、審議の結果、原案どおり承認された。

26) 2-f（初回）項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

27) 2-e 項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

28) 病態別実践リハビリテーション医学研究会について

正門理事から、2月15日開催の研修会における大雪による欠席者への対応及び非常時の際の対応について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

29) その他

①後援・協賛について

才藤副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

②厚労省後援研修運営委員の推薦について

水落理事から、がんのリハビリテーション研修運営委員及びリンパ浮腫研修運営の推薦依頼について、現在の運営委員を継続したい旨の説明があり、承認された。

③データベース協議会について

水間理事長から、3月13日に開催されたJARD協議会4学協会代表者懇談会について、データベース及びデータベース協議会の在り方については、27年度に向けて4学協会機関協議を経て代表者懇談会の元で中断を視野に協議して行くことの説明があり、了承された。また、医師以外の正会員の入会については、今後業務執行理事会と関連専門職委員会とで、募集案内を作成していくこととなった。

IV. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成26年1月24日から平成26年3月7日に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告があった。

- | | |
|------------|---------|
| ① 編集委員会 | 川平理事 |
| ② 評価・用語委員会 | 志波理事 |
| ③ 教育委員会 | 正門・石合理事 |
| ④ 資格認定委員会 | 浅見理事 |
| ⑤ 試験委員会 | 白倉・芳賀理事 |
| ⑥ 関連機器委員会 | 朝貝理事 |
| ⑦ 広報委員会 | 安保理事 |
| ⑧ 国際委員会 | 佐浦理事 |

なお、資格認定員会で検討された「指導医認定に関する委員会内規取り決め（一部改正）」については、再度委員会で審議していただくこととした。

2) 専門医会報告

近藤専門医会幹事長から、第51回学術集会において小児リハをテーマにした専門医会企画を行う旨報告があった。

3) RJN 報告

浅見理事から、4月28日に水間理事長へのインタビューが行われ、これまでのインタビュー企画の報告書を3月に発行する予定である旨報告があった。

4) 国際シンポジウムについて

安保理事から席上配布の抄録に基づき、国際シン

ポジウムの準備状況について報告があった。

5) 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会について

水落理事から、研修会の準備状況について報告があった。

6) 2-g, 2-f (2回目以降) 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

7) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会(徳島)について

正門理事から報告があった。

8) その他

①第54回学術集會会長候補者の推薦について

才藤副理事長から、次回理事会で第54回学術集會会長候補者を審議決定するため、3月31日までに理事長宛での推薦書を事務局長に送るよう依頼があった。

②平成25年度各種委員会報告書の提出について

才藤副理事長から、3月31日までに報告書を事務局宛に提出するよう依頼があった。

③日本医学会利益相反マネジメントについて

水間理事長から、日本医学会利益相反マネジメントが改訂された旨報告があった。

④日本心理研修センターからの回答について

水間理事長から、日本心理研修センターに対する心理職国家資格の試験・登録機関指定の同意への付帯要望に対する同センターからの回答があった旨の報告があった。

⑤神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハガイドライン査読依頼について

生駒理事から、神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハガイドラインについて、関連他学会に査読を依頼する必要がある旨説明があり、了承された。

以上

日本リハビリテーション医学会 平成26年度第1回理事会 議事録

日時：平成26年4月26日(土) 12時～16時

場所：八重洲会議室 2階会議室2A

構成員：理事20名、監事3名

出席者

理事長／水間正澄

副理事長／椿原彰夫・才藤栄一・出江紳一

理事／赤居正美・朝貝芳美・浅見豊子・安保雅博

生駒一憲・石合純夫・石川 誠・川平和美

上月正博・佐浦隆一・白倉賢二・芳賀信彦

正門由久・水落和也

監事／木村彰男・久保俊一・住田幹男

専門医会幹事長・事務局幹事／近藤和泉

刊行物の在り方検討委員会委員長／道免和久

(該当議題のみ)

欠席者

理事／志波直人・田島文博

議題

I. 報告

1) 業務執行理事会報告

水間理事長から、平成26年度第1回業務執行理事会(Skype会議)の報告があった。

2) 会員現況報告

水間理事長から、会員現況について報告があった。

3) 平成26年度予算書の内閣府への提出について

水間理事長から、平成26年度収支予算書を内閣府に提出した旨報告があった。

4) その他

①日本医学会連合設立について

水間理事長から、日本医学会を一般社団法人化する件につき、4月1日付で一般社団法人日本医学会連合が成立した旨の報告があった。

II. 重要審議事項

1) 新役員候補者について

①新役員候補者の代議員総会への提案について

水間理事長から、役員選挙管理委員会から報告のあった意向投票の結果を受けて代議員に報告する旨説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。なお、投票総数は278票、投票率は94.56%であった。

②役員選挙管理委員会報告

芳賀理事から、役員選挙に関する経過報告が行われた。この報告の中で選挙活動に関わる報告があり、一部理事からも選挙活動の在り方についての疑

義が出されたが、選挙活動に関する規則がない現状を鑑みて、審議の結果、今後選挙活動の在り方を検討していくことで承認された。代議員に対しては、選挙活動の在り方について疑義が出された旨を説明することとした。

③「新役員候補者の選出に関する取り決め」の廃止について

芳賀理事から、平成 25 年 9 月 7 日に施行した「役員候補者の選出並びに役員の選任に関する内規」に「新役員候補者の選出に関する取り決め」の内容を盛り込んだが、同取り決めの廃止を明確にしていなかったため、この理事会で廃止をしたい旨説明があり、審議の結果、廃止が承認された。

2) 平成 25 年度収支決算報告について

出江副理事長から、平成 25 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等について説明があり、事務局長から 25 年度末の現金残高状況についての補足があった。その後、監事から監査結果について報告があり、審議の結果、平成 25 年度収支決算報告は原案どおり承認され、代議員総会に附議することとした。

なお、監査報告の際、三監事の共通補足意見として、理事会に対して、財務状況を的確に把握し、適宜遅滞なく対応するよう要請があった。

3) 会費値上げ及び定款施行細則の一部改正案について

水間理事長から、正会員の会費値上げ案について説明があり、事務局長から会費値上げシミュレーションの補足があった。審議の結果、会費値上げについては、会費値上げによる会員減リスクを除いても値上げが必要な財務状況であることから、会費値上げシミュレーションを再整理し役員に提示するとともに、平成 27 年 4 月 1 日から正会員会費を 3,000 円値上げする案を代議員総会に諮ることとした。

引き続き椿原副理事長から、会費値上げが代議員総会で認められた際に定款施行細則の一部改定が必要となる旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4) 代議員への財務状況報告について

水間理事長から、4 月 22 日に HP で代議員に対して財務状況に関する報告及びお願いを掲載したこと及び代議員総会で改めて説明する旨説明があり、審議の結果、承認された。

なお、会員への説明は、理事長が会員への報告会の中で説明することとした。

Ⅲ. 審議事項

1) 平成 25 年度事業報告及び各種委員会報告について（代議員総会資料）

水間理事長から、平成 25 年度事業報告及び各種委員会報告について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。なお、修正があれば 5 月 2 日までに事務局に連絡することとした。

2) 代議員総会関係

①代議員総会、会員への報告会日程の変更について
才藤副理事長から、代議員総会当日の日程及び会員への報告会日程が変更となる旨説明があり、原案のとおり承認された。

②代議員総会、会員への報告会議次第案について
才藤副理事長から、代議員総会及び会員への報告会議次第案について説明があり、原案のとおり承認された。

③代議員総会開催通知案について

才藤副理事長から、代議員総会開催通知案について説明があり、原案のとおり承認された。

④代議員総会における議決方法について

才藤副理事長から、代議員総会での議決方法案について、今回は役員信任投票や会費値上げ案などの重要案件があることから、書面表決は行わないこと、会費値上げ案については挙手による採決を行うことなどについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

3) 功労会員の推薦について

水間理事長から、3 月 31 日までに推薦をお願いした功労会員候補者について、全員を推薦すべきとの意見も出たことから、功労会員候補者リスト全員を代議員総会に推薦することの説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4) Corresponding Member の推薦について

佐浦理事から、平成 26 年度 Corresponding member 候補者について説明があり、審議の結果、原案のとおり Jeffrey B. Palmer, M.D, Marta Imamura, M.D, Ph. D, Jianan Li, M.D の 3 名を代議員総会に推薦することとした。

なお、資料に記された海外名誉会員の名称については、今後国際委員会で標記の統一を検討することとした。

5) Corresponding Member の任期更新について

佐浦理事から、Corresponding Member の任期更新について説明があり、審議の結果、原案のとおり Jeffery R. Basford 氏の更新が承認された。

6) 第54回学術集會会長候補について

水間理事長から、3月31日までに推薦を依頼した第54回学術集會会長候補については、椿原彰夫先生のための推薦であったため、椿原先生を第54回学術集會会長候補として代議員総会に推薦する旨説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

7) 基本財産及び特定資産に関する規則(案)について

椿原副理事長から、基本財産及び特定資産に関する規則(案)について、この規則は前回理事会で公益事業基金に関する規則の改正案として提案したものであるが、規則名が変更となり条文もほぼ全面改正となっていることから、新たに規則を制定し旧規則を廃止する形で再提案する旨説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。なお、本規則はすでに会則検討委員会での検討を経ているため、案のとおり代議員総会に諮ることとした。

8) 審査料、登録料及び手数料等の費用に関する内規の一部改正案について

椿原副理事長から、前回理事会で専門医審査料の改訂が承認されたことに伴う内規改正案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

9) 専門医会に関する規則改正案(再提案)について

近藤専門医会幹事長から、前回理事会に提案し再検討を求められた専門医会に関する規則改正案について、提案資料の一部訂正を含めて説明があった。訂正箇所は、第7条見出しの特別幹事の次に「並びに特別委員」を加え、第7条第5項を削除するものであり、審議の結果、訂正後の案について承認され、会則検討委員会に附議することとした。

10) 専門医会幹事選挙管理委員会委員の選出について

近藤専門医会幹事長から、専門医会幹事選挙管理委員会委員候補について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

11) 学術集會開催準備資金前払金支出申請について

近藤専門医会幹事長から、第9回専門医会学術集會準備資金の前払金支出申請について説明があり、審議の結果、前払金支出が承認された。

12) 刊行物の在り方について

陪席の道免刊行物在り方検討委員会委員長から席上配布資料に基づき、前回理事会への提案以降の学術刊行物の在り方の検討状況について説明があった。今回の見直しは、医学会会費の改訂を視野に、英文・和文誌とも刷新・創刊を会費値上げ以降に延期し、平成28年1月を刷新・創刊とすること、学会誌の編集制作に外部委託を導入することにより学

会負担を削減すること、学会誌の刷新・創刊に向けて、平成27年後半に座談会などの企画を実施することなどであった。また、文科省科研費の研究成果公開促進補助制度への申請も行っていく旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。なお、学会誌のリニューアルに向けてアンケートを実施し、第51回学術集會抄録集に同封し、学術集會会場及び事務局で回収することとした。

13) 筆記試験会場について

芳賀理事から、試験委員会において経費削減を目的とした平成26年度筆記試験会場の見直しについて検討した結果、東京国際フォーラムのガラス棟に会場を集中することで経費を30万円程度圧縮することが可能であるとの説明及び、今年度は、会場が分散することによる試験監督の増員については試験委員会が対応することとするが、口述試験の負担を考慮し、来年度以降は重要な立場におられる先生方にも協力を要請していくこと、会場については引き続き検討していくことの説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

14) 日本専門医制評価・認定機構の解散について

水間理事長から、日本専門医制・評価認定機構から、平成26年度社員総会において同機構を解散する決議を審議することから、解散について加盟団体の機関決定を求められているとの説明があり、審議の結果、解散に賛成することを決議した。

15) 会則検討委員会からの各種規則改正案について

上月理事から、各種規則改正案について説明があった。

①旅費支給に関する内規(改正案)

審議の結果、原案どおり承認された。

②専門医会幹事選挙に関する内規の一部改正(案)について

審議の結果、原案どおり承認された。

③指導医制度に関する規則施行に伴う関連規則改正案

審議の結果、原案どおり承認された。

16) 医師以外の正会員の入会について

上月理事から、久保田茂希氏、長谷川隆志氏、榎勇人氏の3名の入会について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

17) 会員の入退会について

才藤副理事長から、会員の入退会状況について説明があり、承認された。

18) 社会保険等委員会関係

水落理事及び石川理事から、急性期病棟における

リハ医研修会及びがんのリハビリテーション研修会
に関して説明があり、承認された。

19) 資格認定委員会関係

①指導責任者の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案のと
おり承認された。

20) 施設認定委員会関係

①研修施設の新規認定について

②研修施設の資格喪失について

欠席の田島理事に代わり水間理事長から説明があ
り、審議の結果、原案のとおり承認された。

21) 2-f (初回) 項目による生涯教育単位の申請につ
いて

正門理事から説明があり、審議の結果、原案のと
おり承認された。なお、今回申請のあった研修会は
今後も各地方で開催されることから、次回以降は
2f (2回目以降) として審議することとした。

22) 2-e 項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案のと
おり承認された。

23) その他

①後援・協賛について

才藤副理事長から席上配布資料に基づき説明があ
り、審議の結果、原案のとおり承認された。

IV. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 26 年 4 月 18 日から平成 26 年 4 月 20 日に開
催された各種委員会について、次の通り各担当理事
から報告があった。

① 資格認定委員会 浅見理事

② 診療ガイドライン委員会 生駒理事

2) 専門医会報告

近藤専門医会幹事長から、第 51 回学術集会時に
専門医会臨時総会は開催しない旨報告があった。

3) RJN 報告

浅見理事から世話人会活動報告があった。また席
上配布の RJN 発行冊子「達人の流儀」について、
製作は広告費で賄うことができたこと及び第 51 回
学術集会では 300 円で販売する旨説明があった。

4) 第 51 回学術集会における特別講演、教育講演の
単位について

才藤副理事長から、第 51 回学術集会の取得単位

について報告があった。

5) 代議員選挙の定数割当てに関する申し合わせにつ
いて

芳賀理事から、代議員選挙における各地区の正会
員数に比例按分した割り当て方法について、代議員
選挙管理委員会において 300 を割り当てる方法につ
いての申し合わせを制定した旨報告があった。

6) 国際シンポジウムについて

安保理事から、4 月 19 日に開催された国際シン
ポジウムについて、参加者が 250 人を超え収支が黒
字となった旨報告があった。

7) 2-g, 2-f (2 回目以降) 項目による生涯教育研修
単位の申請について

正門理事から報告があった。

8) 病態別実践リハビリテーション医学研修会について

正門理事から、平成 25 年度実施報告及び平成 26
年度実施計画について報告があった。

9) 実習研修会について

正門理事から、平成 25 年度実施報告及び平成 26
年度実施計画について報告があった。

10) 臨床研修医等医師向けリハビリテーション研修会
について

石合理事から、平成 26 年 8 月 2 日の実施概要に
ついて説明があった。

11) その他

①医師以外の正会員募集案内について

椿原副理事長から、医師以外の正会員の認定に関
する内規の改正によって入会規定が緩和されたこと
から、関連学協会宛てに案内を出す旨説明があっ
た。

② Web 会議システムの導入について

才藤副理事長から、会議開催の経費を縮減するた
めのツールの 1 つとして Web 会議システムを導入
し、運用についてはおつて事務局から通知するの
で、活用願いたい旨報告があった。

③ ISPRM カンクーン会議について

才藤副理事長から、ISPRM の会議がカンクーン
で開かれるが、第 51 回学術集会と重なったため、
リハ医学会からの代表を派遣したい旨説明があり、
派遣候補者は理事長に一任することとした。

以上